



お問い合わせ先

大里農林振興センター 農業支援部  
熊谷市久保島1373-1  
TEL. 048-526-2210 FAX. 048-526-2494

# 水稲の高温対策について

## ▼令和5年産水稲の振り返り

埼玉県の令和5年産水稲の作況指数は東部98、西部100、県全体でも99と平年並となりました。平年では気温が低下し始める8月下旬以降も高温多照が続き高温障害の要因となりました。収量は生育の全期間で高温多照であったことから平年並となりましたが、多くの地域で高温障害による品質の低下を招きました。

高温障害を回避するためには、以下に挙げるような栽培管理のポイントを実践する必要があります。

## ▼水稲の高温障害とは

水稲は夏の異常高温により、不稔、白未熟粒、胴割粒、充実不良等の被害が発生します。これらを総称して高温障害と呼んでいます。白未熟粒は出穂後20日間の平均気温が27℃を超えるると多発します。

## 高温障害を抑える栽培管理のポイント

### (1) 根の活性維持

#### ① 土づくり

根の活性維持のため堆肥やケイ酸資材を積極的に施用し、土づくりに努めます。堆肥は10aあたり1〜2t程度施用し、ケイカルは10aあたり60〜100kg程度施用します。

#### ② 耕うん

耕うんは水稲の根系を広げるため、耕深15cmを目標に行います。耕深が浅いと狭い範囲に基肥が集まるため、初期生育は旺盛になりますが後半肥料切れを起し、最も高温障害が発生しやすいパターンの生育となります。

#### ③ 水管理

有効分げつを確保したら、無効分げつの抑制や健全な根系の発達による登熟を促進させるため中干しを行います。中干しの期間は田面に小ひびが入る程度とします。

出穂後7日以降は間断かん水を行います。1週間を1サイクルとし、たん水と断水を3〜4日で切り替えます。中干しや出穂後の間断かん水を行い、土壌に酸素を供給し、根の活性を保ちます。

### (2) 過剰籾数の抑制および栄養状態確保

#### ① 栽植密度

極端な疎植は遅発分げつの多発や弱勢籾が増え、極端な密植は籾数が過剰になることから白未熟粒が発生しやすくなります。そのため、栽植密度は坪あたり50〜60株程度とします。

#### ② 施肥

過剰な基肥は遅発分げつの発生につながり、籾数が過剰になりやすいため避けます。葉色の低下は高温障害の危険信号です。葉色診断による適正な追肥が必要です。穂肥の施用時期および量については表1を参考にしてください。穂肥の時期が早すぎても籾数が過剰になりやすいため注意が必要です。

表1 品種別穂肥施用時期

品 種		施 用 時 期	標準施用量 (窒素成分)	葉色が [4] より 濃い場合
キヌヒカリ	早植	出穂20日前 幼穂長2〜5mm	2kg/10a	減肥・ 施用時期を 遅らせる
	普通			
彩のきずな	早植	出穂25〜23日前 幼穂長1〜2mm	2〜3kg/10a	
	普通			
彩のかがやき	普通	①出穂25日前 幼穂長0.5〜1mm	①2kg/10a	
		②出穂15〜10日前	②2kg/10a	

※彩のかがやきは特に高温に弱いので、①の追肥後に葉色が薄い場合は②の追肥を実施する。

### (3) 適期収穫

高温時には登熟が早まり、刈り遅れ等により胴割米が発生しやすくなります。高温時にはほ場をよく観察して、出穂後の積算気温や気象予報を参考に刈り遅れないことが重要となります。

(大里農林振興センター)

農業支援部

★今月のあなたの運勢★ 4月 // 乙女座 8/23〜9/22

☆モナ・カサンドラ

【全体運】 あれこれ多忙なときですが上昇運。めど立たないことは下旬に動きがある兆し。待つみるのもいいでしょう  
【健康運】 うっかりのけがに気を付けて。食事は腹八分目に 【幸運の食べ物】 フキのとう

